

平成31年度

第2回 東区まちづくり懇話会議事録（概要）

「自然豊かな 笑顔あふれるまち 東区」を目指して
市民協働によるまちづくりを進めていきます。



東区 総務企画課



第2回 東区まちづくり懇話会の概要

前回の懇話会でご提案いただいた課題についてワークショップ形式で意見交換を行いました。

日 時：平成30年8月10日（金） 午後2時

場 所：東区役所 3階 すこやかホール



○ 意見交換した課題

グループ名	意見交換した課題
1班-①	地域防災力の向上について
1班-②	子どもの防犯対策について
2班-③	熊本地震で被災された方への支援について
2班-④	高齢者とその家族や障がい者等の見守りと子育て世帯の孤立化を防ぐための体制づくりについて
3班-⑤	地域の担い手の育成について
3班-⑥	地域・世代間交流の活性化及び地域情報受発信のあり方について



意見交換（ワークショップ）の結果：①

（１） 地域防災力の向上について

【主な意見】

- ・若者のたちの郷土愛を育むための取り組みはできると思う。
- ・地域でのコミュニケーション能力の向上に努めるべき。
- ・災害が発生したときは、何処に避難すればよいのかをパネルやアプリ等を使用して周知してほしい。
- ・円滑に避難所を運営するために、成功談などの事例集を作成して地域の方々と情報共有してほしい。
- ・地域リーダーを養成し、災害時はその人を中心に行動してもらってはどうか。
- ・情報共有しながら、住民と行政が一体となって災害に強いまちづくりを進めていくべきでは。



（２） 子どもの防犯対策について

【主な意見】

- ・子どもとの交流会を開催したり犯罪が多発している地域を住民に知らせることは地域でも出来るのでは。
- ・地域住民や学校・PTAに業務を割り当てて見守り活動に協力を依頼してはどうか。
- ・資格がない人も防犯パトロールができるのでは。
- ・資金面などで防犯協会、防犯教育、青パトのサポート等を行ってほしい。
- ・防犯協会のことを知らない方もいるため、防犯協会の活動に関する啓発をさらに行ってはどうか。
- ・防犯教育や防犯リーダーの育成、さらには、子どもたちの見守り活動を行うべきでは。





意見交換（ワークショップ）の結果：②

(3) 熊本地震で被災された方への支援について

【主な意見】

- ・交流会を開催したときなどは近隣の方に声をかけて参加を呼びかけては。
- ・お茶会やゲートボール、グランドゴルフなどの交流イベントを開催してはどうか。（特に被災された方には、参加の呼びかけが必要）
- ・引き続き、市民協働による避難訓練を実施してほしい。（地域レベルで避難訓練を行えば、大きな範囲でつながりをつくることができるため）
- ・ブロック塀が倒壊する恐れがある場所など危険場所の確認は市民協働で行う必要があるのでは。



(4) 高齢者とその家族や障がい者等の見守りと子育て世帯の孤立化を防ぐ

ための体制づくりについて

【主な意見】

高齢者等の見守りや子育て世帯の孤立化を防ぐためには、住民同士が交流するための場づくり（つながりづくり）が必要。

○ 例えば・・・

- ・子育て世代間の交流を図るためには、子育て教室とか母親クラブの開催など
- ・高齢者や障がい者を地域ぐるみで見守るためには、老人会やカフェの開催など

↓ そこで・・・

- ・子育て世代間の交流のためにみんなが集う場を設けてほしい。
- ・子ども園や育成クラブなどをもっとたくさん作ってほしい。
- ・支援が必要な方とボランティアを希望する方を繋ぐための場づくりが必要。





意見交換（ワークショップ）の結果：③

（５） 地域の担い手育成について

【主な意見】

- ・ 地域活動のために時間を費やすことに抵抗があるなどの理由により、地域の担い手になるのを嫌がる人がいるが、それでも地域交流が如何に大切であるかを訴えていく必要があると思う。
- ・ 地域が行う活動に対してもっと補助金を交付してほしい。
- ・ 地域課題の解決のために必要に応じて専門家を派遣してほしい。
- ・ 地域リーダーを育成してはどうか。また、地域リーダーの育成や地域活動を行うための手引き書を作成してはどうか。



（６） 地域・世代間交流の活性化及び地域情報受発信のあり方について

【主な意見】

- ・ 小学校の空き教室などを利用して市民先生に講義をしてもらえば、世代間交流に繋がると思う。
- ・ 東区モデルの情報発信を行ってみては。例えば、東区の Facebook で「いいね」を押せば東区内の商店街から特典がもらえるみたいな仕組みを作れば東区の情報が入り込んでいろんな方に広がっていくかもしれないし、それを見た人がそのお店を利用するようになるかもしれない。そうなれば、地域の活性化にも繋がると思う。

